

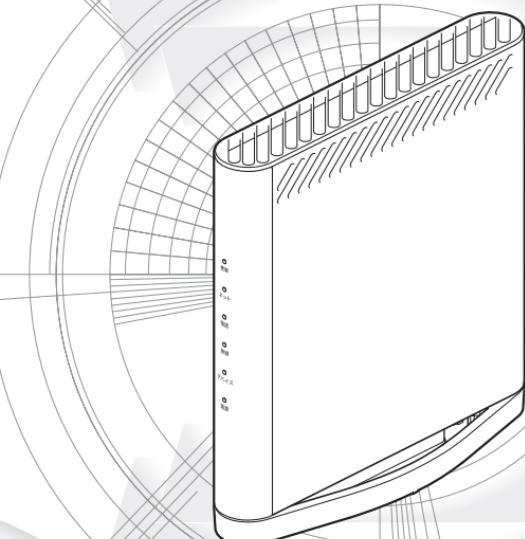
NEC

レンタル品

縦置き専用

Aterm® BL1000HW

お使いになる前に



技術基準適合認証品

目次

目次	1
はじめに	2
安全にお使いいただくために必ずお読みください	5
セットを確認してください	16
各部の名前	17
設置する	21
auひかり電話サービスの使いかた	22
無線LANをご利用になるには	23
無線LAN端末（子機）からの接続	23
WPS機能を使用して無線設定する	25
セキュリティ対策をする	26
セキュリティ機能について	26
USBポートのご利用について	29
USBデバイスを取り付けるとき	29
USBデバイスを取り外すとき	29
クイック設定Webのご利用について	30
クイック設定Webの起動のしかた	31
電話機から設定する	32
本商品の初期化	33
初期化ボタンで初期化する	33
機能詳細ガイドについて	34
トラブルシューティング	35
設置に関するトラブル	35
ご利用開始後のトラブル	38
製品仕様	40
確認シート	43
お問い合わせ	45
お問い合わせ先	45
本商品の輸送時のお取り扱いについて	45

はじめに

このたびは、本商品をお選びいただきまことにありがとうございます。

本商品をご使用の前に、本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

- お客様宅内で接続されている通信設備などの影響により、最大通信速度が当初より得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- インターネットをご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取などの危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いいたします。
- 本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、GPL、LGPL、Eclipse Public License (EPL) に基づきライセンスされるソフトウェアのソースコードを入手し、複製、頒布および改変することができます。詳細は「機能詳細ガイド」(☞P34) を参照してください。

● 輸出する際の注意事項

本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本商品を日本国外で使用された場合、弊社はいっさい責任を負いません。また、弊社は本商品に関し、海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。本商品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、ご契約のプロバイダのサービスセンターにご相談ください。

● ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。本書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

● 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

■電波に関する注意事項

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- 本商品は IEEE802.11ax の Draft 準拠製品です。現行の技術基準に則り、技術基準適合証明を取得しています。
- Draft IEEE802.11ax(5GHz 帯)、IEEE802.11ac、IEEE802.11n(5GHz 帯)、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 5GHz 帯で使用するチャネルは 36, 40, 44, 48ch (W52) と 52, 56, 60, 64ch (W53) と 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch (W56) です。無線 LAN アクセスポイント（親機）としては、従来の IEEE802.11a で使用の 34, 38, 42, 46ch(J52) の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。

IEEE802.11a/n/ac			
Draft IEEE802.11ax			
W52	W53	W56	

- W52 (5.2GHz 帯 / 36,40,44,48ch)、
W53 (5.3GHz 帯 / 52,56,60,64ch)、
W56 (5.6GHz 帯 / 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch) が利用できます。

5GHz 帯で接続する無線 LAN 端末（子機）は、以下の表示があるものを推奨します。

- W52 (5.2GHz 帯 / 36,40,44,48ch)
- W53 (5.3GHz 帯 / 52,56,60,64ch)
- W56 (5.6GHz 帯 / 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)
- W53 (52,56,60,64ch) または W56 (100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - 各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 - 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- Draft IEEE802.11ax (2.4GHz 帯)、IEEE802.11n (2.4GHz 帯)、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は 2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
 - (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
 - (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、お問い合わせ先にお問い合わせください。

- Draft IEEE802.11ax (2.4GHz 帯)、IEEE802.11n (2.4GHz 帶)、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避不可です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4DS4/OF4/XX8
IEEE802.11b/g/n
Draft IEEE802.11ax

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS4 : DS-SS 方式で想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
OF4 : OFDM 方式で想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
XX8 : その他の方式で想定される干渉距離が 80m 以下であることを示す
■■■ : 2400MHz ~ 2483.5MHz の全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する

- 本商品を 2.4GHz 帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。
「この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャネル設定として CH1,CH6,CH11 のいずれかにすることを推奨します。」
ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。使用チャネルの設定方法は「機能詳細ガイド」を参照してください。(▶P34)

- ・ Aterm は、日本電気株式会社の登録商標です。
- ・ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Mac、macOS、OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ Z-Wave は、SILICON LABS, Inc. の登録商標です。
- ・ Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために必ず お読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明



警 告

:人が死亡する、または重傷（※1）を負う可能性が想定される内容を示しています。



注 意

:人が軽傷（※2）を負う可能性が想定される内容、および物的損害（※3）のみの発生が想定される内容を示しています。



お願 い

:本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

(※1) 重傷：失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさしています。

(※2) 軽傷：治療に入院や長期の通院を要しないけが、やけど、感電などをさしています。

(※3) 物的損害：家屋、家財および家畜、ペットなどにかかる拡大損害をさしています。

図記号の説明

■警告・注意を促す記号



一般注意



発火注意



感電注意



高温注意



破裂注意

■行為を禁止する記号



一般禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止



風呂等での使用禁止



火気禁止

■行為を指示する記号



一般指示



電源プラグをコンセントから抜け

!**警 告**

電源

- AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となります。差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。



- ACアダプタのプラグケーブルはケーブル止めに通して固定し、本体でケーブルを踏まないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
また、重いものをのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。



- ACアダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。



- ACアダプタおよび電源コードは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタおよび電源コードは、他の製品に使用しないでください。感電、故障の原因となります。



- 本商品に添付のACアダプタおよび電源コードは、必ず一体で使用し、他のACアダプタや電源コードを組み合わせて使用しないでください。



- ACアダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。



警 告

- 本商品に添付の AC アダプタは日本国内 AC100V (50/60Hz) の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。



- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。また、AC アダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- AC アダプタ本体が宙吊りにならないよう設置してください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。



こんなときは

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。



警 告

- 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のまま使用すると火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。



- 本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因となったり、そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。



禁止事項

- 本商品は家庭用の通信機器として設計されています。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。



- 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。



- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。



- 本商品の内部や周囲でエアダスター やダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。



⚠ 警 告

その他のご注意

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。
また、医用電気機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



⚠ 注 意

設置場所

- 本商品は温度0～40°C、湿度10～90%の結露しない環境でご使用ください。
- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



!**注 意**

- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。



- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



- 本商品は縦置き専用です。横置きで使用しないでください。横置きで使用した場合、機器の温度が上昇し、やけどを負う恐れがあります。



- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災^(※)の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。



- 横向きに寝かせる
- 他の機器と重ね置きする
- 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- じゅうたんや布団の上に置く
- テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品の上にものを置く

- 本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災^(※)の原因となることがあります。必ず縦置きでご利用ください。また、本商品を壁などに近づけないでください。



- 本商品と電話機を接続するケーブルは絶対に屋外を通さないでください。雷などによる障害の原因となります。



(※) 周囲の状況やトラッキングによる火災の可能性がありますので、十分な注意をお願いします。

⚠ 注意

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本商品のACアダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、おこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。



禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- 「接続設定ガイド」にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。



その他のご注意

- 本商品の使用中、長時間にわたり一定箇所を触れたままになっていると低温やけどを起こす可能性があります。



 お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
 - 振動が多い場所
 - 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)
 - 高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数m以上離してお使いください。
- 無線LANをご利用の場合、本商品(親機)と無線LAN端末(子機)の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを1m以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジ、他のアクセスポイントなど、電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数m以上離してお使いください。

禁止事項

- 製氷庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

お願い

- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。
- 本商品の電源を入れたあと、すぐに電源を切らないでください。60秒以上の間隔をあけてから電源を切ってください。すぐに電源を切ると故障の原因となることがあります。

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

無線 LAN に関するご注意

- 無線 LAN の規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信をおこなったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本商品は他社製品との相互接続性を保証しておりません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- 5.2GHz、5.3GHz 帯域の屋外での使用は電波法により禁止されています。

USBポートに関するご注意

- USB ポートに接続した USB デバイス内のファイルへアクセス中に、USB デバイスやパソコンを本商品から外したり、本商品の電源を切ったりすると、アクセス中のデータが壊れる場合がありますので、ご注意ください。

電話に関するご注意

- ご使用になる電話機は電気通信事業法の認証表示（技適マーク）「G」または「金」がついているものをご使用ください。本商品の電話機ポートは疑似的にアナログ電話回線と同等の環境を作っています。実際のアナログ電話回線とは異なるので通信機器によっては使用できない場合があります。また、本商品の電話機ポートには電話機のブランチ接続はできません。

その他のご注意

- 通信中に本商品の電源が切れたり、本商品を取り外したりすると、通信ができなくなり、データが壊れることがあります。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。
プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
 - 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
 - ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
 - メールの内容
 - 等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
 - 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
 - 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
 - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
 - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
 - コンピュータウイルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）
 - 等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなっています。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

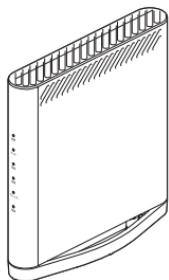
セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、無線 LAN アクセスポイントの暗号化キーは初期値から変更してください。変更は、クイック設定 Web (☞P30) で行います。

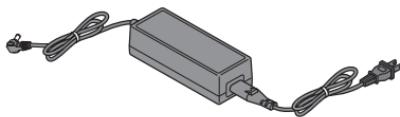
セキュリティ対策については P26 を参照してください。

セットを確認してください

■本体



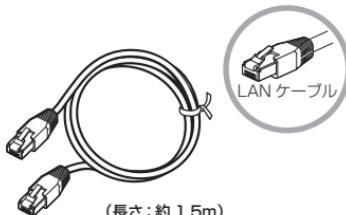
BL1000HW (1台)



ACアダプタ (1式)

※ 電源コードは、ACアダプタに奥まで確実に差し込んでください。

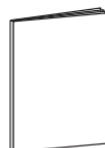
■添付品



(長さ：約1.5m)
LANケーブル (1本、白色)



(長さ：約2m)
電話ケーブル (1本、黄印)



お使いになる前に
(本書)



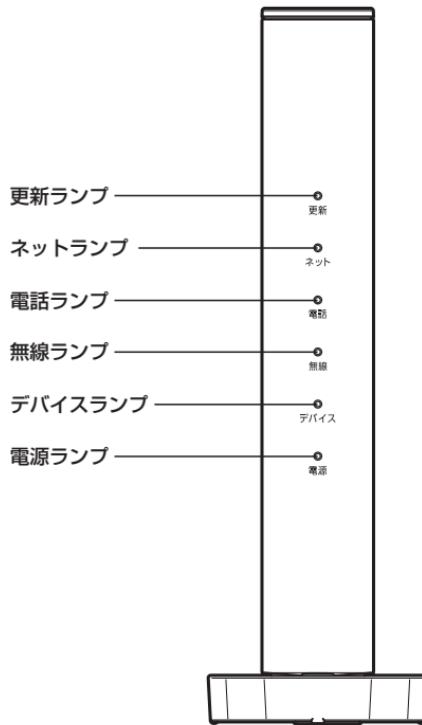
接続設定ガイド
(別紙)

※ 最新版は、auホームページにてご覧いただけます。

各部の名前

本商品各部の名前および機能を説明します。

●前面図



■ 前面

ランプの名称	表示（色）		機能説明
更新ランプ	緑	点灯	センターと通信中です。
	橙	点灯	本商品とセンター間で通信準備中です。
	赤	点灯	
	—	消灯	通信ができる状態です。
ネットランプ	緑	点灯	インターネット接続ができる状態です。
	橙	点灯	LAN ポートでネットワークループを検出したとき。
	赤	点灯	インターネット接続ができない状態です。(アドレス未取得)
	—	消灯	ネットサービスが契約されていません。 または手続き中です。
電話ランプ	緑	点灯	au ひかり電話サービスが利用できます。
	橙	点灯	迷惑電話ブロック中です。
	赤	点灯	au ひかり電話サービスが利用できません。
	—	消灯	au ひかり電話サービスが契約されていません。 または手続き中です。
無線ランプ	緑	点灯	無線 LAN 機能が利用できます。
		点滅	無線 LAN でデータ送受信中です。
	橙	点灯	WPS での設定に成功したとき。
		点滅	WPS で起動中です。
	赤	点灯	DFS ^{※1} 動作中です。
		点滅	WPS での設定に失敗したとき。
	—	消灯	無線 LAN 機能が利用できません。
デバイスランプ	緑	点灯	au HOME サービスに申し込みの状態です。
		点滅	センサーデバイスを登録中またはデータ送受信中です。
	橙	点灯	au HOME 機能の更新中です。
		点滅	センサーデバイスの登録削除中です。
	赤	点灯	au HOME 機能の更新に失敗した状態です。
	—	消灯	au HOME サービスが契約されていません。 または手続き中です。
電源ランプ	緑	点灯	電源が入っています。
		点滅	省電力中です。 ^{※2}
	橙	点灯	ファームウェアのバージョンアップをしているとき。 ^{※3}
	—	消灯	電源が切れています。

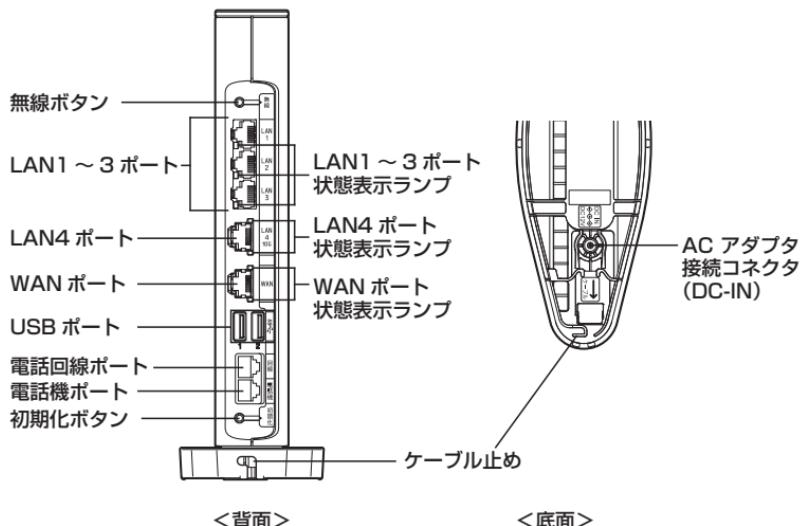
※ 1 DFS (Dynamic Frequency Selection)

DFS とは、気象レーダーや船舶レーダーなどが使用しているチャネルを検出する機能です。本商品では、レーダーが使用しているチャネルを検出した場合、干渉しないチャネルに自動的に変更します。

※ 2 LAN4 ポートのリンク速度を 1Gbps に制限しています。

※ 3 本商品のファームウェアまたは設定情報を自動的に書き換えている場合も、電源ランプが橙点灯しますので、絶対に電源を切らないでください。故障の原因となります。

●背面／底面図



■ 背面／底面

名 称	機能説明
無線ボタン	WPS で無線 LAN 接続設定する際に使用します。
LAN1～3 ポート	LAN ケーブルを使用して、パソコンなどの端末と接続するためのポートです。 3 ポート (1000BASE-T/100BASE-TX) ※ Cat5e 以上、UTP ケーブル推奨
LAN4 ポート	LAN ケーブルを使用して、パソコンなどの端末と接続するためのポートです。 1 ポート (10GBASE-T/5GBASE-T/2.5GBASE-T/1000BASE-T/100BASE-TX) ※ Cat6 以上、STP ケーブル推奨
WAN ポート	添付の LAN ケーブルを使用して、ONU など上位ネットワーク機器と接続するためのポートです。(10GBASE-T/5GBASE-T/2.5GBASE-T/1000BASE-T/100BASE-TX)
USB ポート	USB デバイスを接続するためのポートです。 (☞P29)
電話回線ポート	添付の電話ケーブル（黄印）を使用して、モジュラージャックや電話回線用フィルタに接続するためのポートです。
電話機ポート	電話ケーブルを使用して電話機に接続するためのポートです。
初期化ボタン	初期化する際に使用します。 (☞P33)
AC アダプタ接続コネクタ(DC-IN)	BL1000HW 用 AC アダプタを接続します。

ランプの名称	表示(色)	機能説明
LAN1～3ポート 状態表示ランプ	緑	点灯 LAN上の機器（パソコンなど）とのリンクが確立しています。
		点滅 データ送受信中です。
		消灯 LAN上の機器（パソコンなど）とのリンクが確立していません。
LAN4ポート 状態表示ランプ	緑	点灯 LAN上の機器（パソコンなど）とのリンクが確立しています。
		点滅 データ送受信中です。
		消灯 LAN上の機器（パソコンなど）とのリンクが確立していません。
WANポート 状態表示ランプ	緑	点灯 WAN側とのリンクが確立しています。
		点滅 データ送受信中です。
		消灯 WAN側とのリンクが確立していません。
	橙	点灯 リンク速度（10Gbps/5Gbps/2.5Gbps）で接続中です。
	消灯 リンク速度（1Gbps/100Mbps）で接続中、または接続できない状態です。	

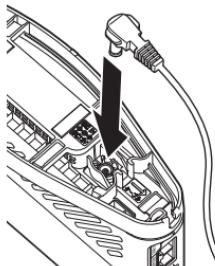
●ACアダプタ接続コネクタ(DC-IN)部

※ ACアダプタ接続コネクタ(DC-IN)には、必ず本商品に添付のACアダプタのプラグを接続してください。

1

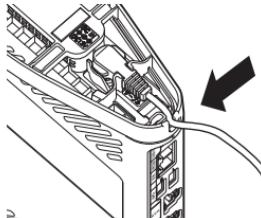
本商品底面のACアダプタ接続コネクタ(DC-IN)にACアダプタのプラグを接続する

ACアダプタのプラグは矢印方向に音がするまで差し込んでください。



2

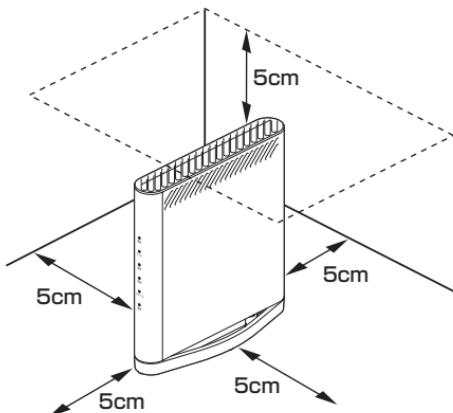
プラグケーブルをケーブル止めに通して固定する



設置する

本商品は、前後左右 5cm、上 5cm 以内に、パソコンや壁などのものがない場所に設置してください。

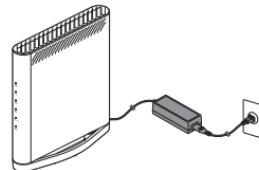
実際の設置・接続については、「接続設定ガイド」を参照してください。



警 告

AC アダプタを接続および設置する際は、以下のことにご注意ください。

- 必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタおよび電源コードは、他の製品に使用しないでください。
- 本商品に添付の AC アダプタおよび電源コードは、必ず一体で使用し、他の AC アダプタや電源コードを組み合わせて使用しないでください。
- 風通しの悪い場所に設置しないでください。
- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。
- AC アダプタ本体が宙吊りにならないよう設置してください。
- たこ足配線にしないでください。
- AC アダプタのプラグケーブルはケーブル止めに通して固定し、本体でケーブルを踏まないように注意してください。



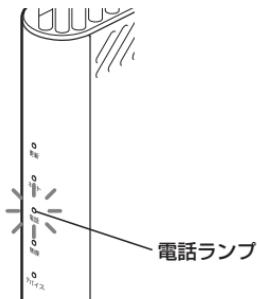
注 意

- 狹い場所や壁などに近づけて設置しないでください。
- 本商品は縦置き専用です。横置きで使用しないでください。横置きで使用した場合、機器の温度が上昇し、やけどを負う恐れがあります。
- 本商品の上にものを置いたり、横置きや重ね置きはしないでください。

auひかり電話サービスの使いかた

auひかり電話サービスとは、本商品を介して、電話機での通話を実現するサービスです。現在ご利用中の電話機をそのままご使用いただけます。また、ダイヤル方法もこれまでと同じです。

●前面図



auひかり電話サービスをご利用の前に、必ず本商品前面の電話ランプが緑点灯していることを確認してください。
緑点灯しない場合は、「トラブルシューティング」の「f. 本商品前面の電話ランプが緑点灯しない」(☞P37) を参照してください。



お知らせ

- KDDIの発信番号表示、割込番号表示を契約されている場合は、それぞれに対応した電話機が必要です。
- 本商品でauひかり電話サービスをご利用の際には、以下のことについて注意ください。また、「機能詳細ガイド」(☞P34) の「auひかり電話サービスの使いかた」ではさらに詳しく説明しておりますので、こちらをあわせて参照してください。

その他のご注意

- 通話切断後、再び電話をかける場合は、必ず1秒以上受話器を戻したあとでかけてください。
- ご使用の電話機のACR/LCR機能（電話会社自動選択機能）が動作している場合、auひかり電話サービスから発信できない場合があります。ACR/LCR機能はOFFにしてご利用ください。(設定方法などはお使いの電話機の取扱説明書などをご確認ください。)
- 次のような場合、auひかり電話サービスの通話品質が劣化したり、ファックス通信が困難な場合や通信が切断される場合があります。
 - ・本商品をクイック設定Webで設定中の場合
- 本商品の電源をONまたはOFFにした際に着信があると、着信が切れる場合があります。
- 停電時および本商品の電源をOFFにした場合には、auひかり電話サービスをご利用になれません。また、auひかり電話サービスで通話中に停電または本商品の電源をOFFにすると、通話が切断されます。

無線 LAN をご利用になるには

本商品は、無線 LAN 機能を内蔵しており、無線 LAN アクセスポイント（親機）として利用することができます。

無線 LAN をご利用になるには、「ホームゲートウェイ（HGW）内蔵無線 LAN 親機機能」のお申し込みをおこなってください。（au ホームページ、もしくは KDDI お客様センターにてお申し込みいただけます。）

その後、無線 LAN 端末（子機）から本商品（親機）へ無線 LAN 接続してください。

無線 LAN 端末（子機）からの接続

無線 LAN 端末（子機）から本商品（親機）へ無線 LAN 接続するためには、本商品（親機）の無線設定内容（工場出荷状態は本商品（親機）側面に記載）を無線 LAN 端末（子機）側に適用する必要があります。設定方法は、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などを参照して、本商品（親機）側面に記載されている無線設定を無線 LAN 端末（子機）側に設定してください。（☞P24）

WPS 機能に対応している無線 LAN 端末（子機）は「WPS 機能を使用して無線設定する」（☞P25）を参照してください。

au のスマートフォンをお使いの場合は、同梱の「接続設定ガイド」にて簡単に接続できる方法をご紹介していますので、そちらもご参照ください。

● お願い

- 無線 LAN 端末（子機）の取扱説明書に記載の説明と本商品（親機）のランプの名称や設定画面が一部異なる場合があります。その場合はホームページに掲載している本商品（親機）の「機能詳細ガイド」（☞P34）を参照して設定してください。

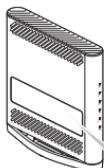


お知らせ

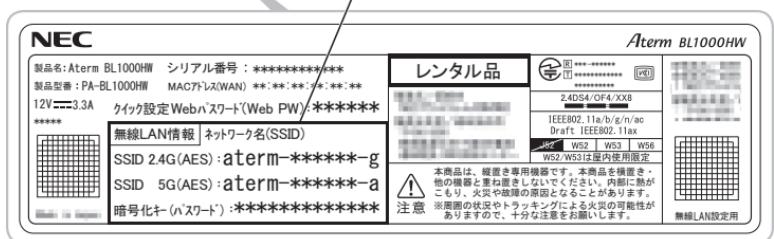
- 無線 LAN 端末（子機）は、10 台以下でのご使用をお勧めします。
- 接続確認済みの無線 LAN 端末（子機）については、下記ホームページにてご確認ください。
<https://www.aterm.jp/kddi/> (2020 年 2 月現在)
- WPS 機能とは、本商品（親機）背面の無線ボタンの操作で無線 LAN 接続設定（SSID・暗号化キーなどの設定）を簡単におこなえる機能です。本商品（親機）は、WPS 機能に対応した無線 LAN 端末（子機）を自動設定する機能を持っています。（☞P25）
- セカンダリ SSID は、工場出荷状態で無効に設定されています。接続方法は「機能詳細ガイド」（☞P34）を参照してください。
- 本商品（親機）へ手動で無線 LAN 接続するためには、プライマリのネットワーク名（SSID）を選択して接続し、プライマリ SSID の暗号化キーをそのまま入力してください。（☞P24）



本商品（親機）側面に記載されている無線設定内容を無線 LAN 端末（子機）に設定する際は、下記のことご注意ください。



工場出荷時の
ネットワーク名 (SSID) と
暗号化キー (パスワード)



● ネットワーク名 (SSID)

ご利用の無線 LAN 端末（子機）から、本商品（親機）のネットワーク名 (SSID) を選択します。

※ 本商品（親機）の工場出荷状態のネットワーク名 (SSID) は、本商品（親機）側面のラベルに記載されています。

※ 本商品（親機）には、ラベルに記載されたプライマリ SSID の他にセカンダリ SSID があります。訪問者などに一時的な使用を許可する場合の SSID です。

セカンダリ SSID の初期値：aterm-XXXXXX-gw (2.4GHz 帯の場合)
aterm-XXXXXX-aw (5GHz 帯の場合)

→セカンダリ SSID は、工場出荷状態で無効に設定されています。接続するためには、クリック設定 Web の「ホームゲートウェイ詳細設定」 - 「3. 無線 LAN」 - 「無線 LAN 詳細設定 (2.4GHz)」または「無線 LAN 詳細設定 (5GHz)」の「対象ネットワークを選択」で「セカンダリ SSID」を選択して「選択」をクリックし、「無線機能」を「ON」に設定します。その際は、暗号化キーの確認をしておいてください。

● 暗号化キー (パスワード)

(暗号化キーとは、無線 LAN 接続するためのパスワードです。セキュリティキー、パスフレーズ、ネットワークキーなどとも呼ばれます。)

選択したネットワーク名 (SSID) で使用している暗号化キーを入力します。工場出荷状態の値は、半角英数字 (0 ~ 9, a ~ f) を使用した 13 衔です。

※ 本商品（親機）の工場出荷状態の暗号化キーは、本商品（親機）側面のラベルに記載されています。

(セカンダリ SSID の場合は、クリック設定 Web で確認してください。)

※ 暗号化キーで使用されているアルファベットは、工場出荷状態ではすべて小文字 (abcdef) です。

WPS 機能を使用して無線設定する

WPS 機能とは、無線自動設定を簡単に実現できる機能です。本商品（親機）は、WPS 機能に対応した無線 LAN 端末（子機）を自動設定する機能を持っています。下記の手順で設定してください。

※ 設定の際は、本商品（親機）と無線 LAN 端末（子機）は近くに置いた状態で設定してください。（目安：1m 程度）

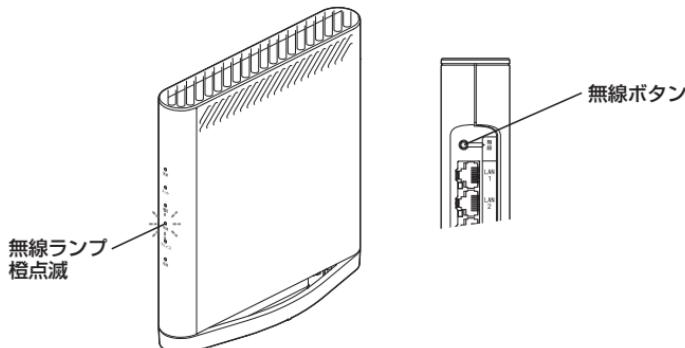
1

無線 LAN 端末（子機）の WPS 機能を起動する

起動方法は、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などを参照してください。

2

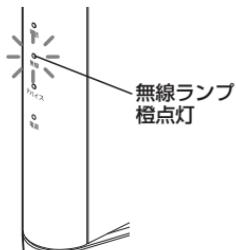
本商品（親機）の無線ボタンを押し、無線ランプが橙点滅したら放す



3

本商品（親機）の無線ランプが橙点灯することを確認する

※ 無線ランプは約 10 秒間橙点灯したあと、緑点灯に戻ります。



失敗した場合は、無線ランプが約 10 秒間赤点滅します。手順 1 から設定をやり直してください。



お知らせ

- 本商品（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を使用する設定にしている場合は、WPS 機能での設定はできません。

- セカンダリ SSID への接続は WPS 機能では設定できません。接続方法は「機能詳細ガイド」(P34) を参照してください。

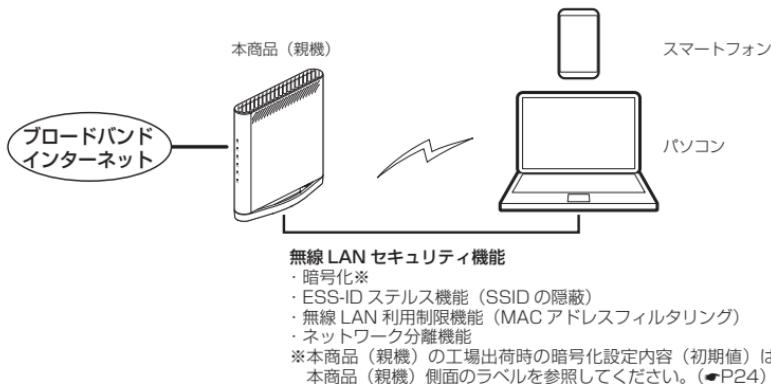
セキュリティ対策をする

セキュリティ機能について

本商品（親機）には、ブロードバンド回線からの不正なアクセスを防ぐ「WAN回線側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないための「無線LAN内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定をおこなってください。

ここでは無線LANセキュリティ機能について説明しています。

セキュリティ対策の詳細は、「機能詳細ガイド」（☞P34）を参照してください。



セキュリティ対策をおこなうことの重要性について

- インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。特にインターネットに常時接続したり、サーバーなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策をおこなう必要があります。

本商品（親機）の機能を利用してセキュリティ対策をおこなってください。

また、ウィルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせておこなっていただくことをお勧めします。

- 無線LAN端末（子機）による無線通信をおこなう場合は、無線LAN内のセキュリティ対策をおこなうことをお勧めします。無線LAN内のセキュリティ対策をおこなわない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。

無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などをされる危険性があります。（☞P15）

暗号化

本商品（親機）で使用している暗号化キー（任意の文字列）と同じキーを登録した無線 LAN 端末（子機）のみ無線通信できるようになる機能です。これにより、送受信される無線データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

<暗号化方式について>

- **TKIP (Temporal Key Integrity Protocol)**

一定パケット量や一定時間ごとにキーを自動的に変更する暗号化方式。

- **AES (Advanced Encryption Standard)**

米国商務省標準技術局（NIST）が選定した次世代の暗号化方式。

TKIP よりさらに強固な暗号化をおこなうことができます。

お願い

- 暗号化の設定は必ず本商品（親機）と無線 LAN 端末（子機）で同じ設定にしてください。
- 暗号化キーは、本商品（親機）の 2 つのネットワーク（プライマリ SSID/ セカンダリ SSID）それぞれにつき 1 つだけ使用します。1 つのネットワーク内の無線 LAN 端末（子機）は、すべて同じ暗号化キーを設定してください。
- 本商品（親機）を初期化した場合、プライマリ SSID/ セカンダリ SSID は AES に設定されます。ネットワーク名（SSID）および暗号化キーの内容（初期値）は、本商品（親機）側面のラベルを参照してください。
- 1 つのネットワークで使用できる暗号化方式は、1 つです。混在はできません。また、それぞれの暗号化方式をご利用になるには、対応した無線 LAN 端末（子機）が必要です。

ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)

無線 LAN 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名(SSID とも呼びます)があります。このネットワーク名(SSID)が一致しないと無線通信ができません。一般にネットワーク名 (SSID) は検索することができますが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に応答しないようにすることができます。

詳細は「機能詳細ガイド」(☞P34) を参照してください。

※ 本商品（親機）独自の機能です。Aterm 以外の無線 LAN 端末（子機）では、接続できない場合があります。

※ 本機能を使用する設定にした場合、WPS 対応の無線 LAN 端末（子機）との無線自動設定（☞P25）はできません。

無線 LAN 利用制限機能 (MAC アドレスフィルタリング)

MAC アドレスが登録された無線 LAN 端末（子機）とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MAC アドレスが登録されていない無線 LAN 端末（子機）から LAN やインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。

クイック設定 Web の「無線 LAN 利用制限」からご利用ください。詳細は「機能詳細ガイド」(☞P34) を参照してください。

ネットワーク分離機能

プライマリ SSID / セカンダリ SSID のそれぞれのネットワークに接続した無線 LAN 端末（子機）や、有線で接続されたパソコンへのアクセスを制限し、本商品（親機）に接続した他のネットワークから分離することができます。

なお、WAN 側が分離されることはありません。

設定は、クイック設定 Web でおこないます。詳細は「機能詳細ガイド」(☞P34) を参照してください。

(初期値：プライマリ SSID は「OFF」、セカンダリ SSID は「ON」)

USB ポートのご利用について

本商品の USB ポートに接続した USB デバイス内のファイルは、本商品の LAN 側に接続したパソコンで読み取り・書き込みをおこなうことができます。

また、LAN 側に接続した複数のパソコン（5 台まで）でファイルを共有することもできます。

ここでは、USB デバイスを接続する場合の取り扱いについて説明しています。パソコンから USB デバイス内のファイルへのアクセス方法や USB ストレージ設定などについては、「機能詳細ガイド」（☞P34）を参照してください。

USB デバイスを取り付けるとき

USB デバイスを取り付ける場合は、下記のことご注意ください。

- 必ず装置本体を押さえて取り付けてください。
- コネクタ部分に手を触れないようにしてください。
- コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

USB デバイスを取り外すとき

USB デバイスを取り外す場合は、クイック設定 Web で USB デバイスの停止をおこなってから取り外してください。

● お願い

- 2 つの USB ポートは、同時使用が可能です。（USB デバイスの形状によっては、2つ同時に取り付けできません。）
- USB ポートは過電流監視機能を搭載していますので、本商品から給電される電流が過電流（900mA を越える）となった場合、自動的に給電を遮断します。
復旧させるには、過電流保護状態の USB ポートから USB デバイスを取り外したあと、クイック設定 Web で状態を復帰させます。操作方法は、「機能詳細ガイド」（☞P34）を参照してください。
- 本商品の USB ポートに USB3.0 デバイスを接続すると、USB3.0 の高周波ノイズの影響により無線の電波に干渉し、2.4GHz 帯につながりにくくなる場合があります。このような場合は、USB デバイスを本商品から離して設置する、または USB3.0 対応のシールドされた USB ケーブルを使用するなどしてお使いください。
- USB ポートに接続した USB デバイス内のファイルへアクセス中に、USB デバイスやパソコンを本商品から外したり、本商品の電源を切ったりすると、アクセス中のデータが壊れる場合がありますので、ご注意ください。
- 規格外の USB デバイスを接続した場合、装置破損の恐れがありますので、ご注意ください。
- USB ハブは使用できませんので、ご注意ください。

クイック設定 Web のご利用について

本商品の様々な機能をご利用になる場合は、クイック設定 Web で設定をおこないます。

本商品の様々な機能については、「機能詳細ガイド」(☞P34) で詳しく説明しています。

クイック設定 Web の詳しい使いかたは、「機能詳細ガイド」の「クイック設定 Web の使いかた」を参照してください。



お願い



● 本商品をより安全にお使いいただくために、クイック設定 Web パスワード (Web PW) を初期パスワードから変更してください。複雑で長い文字列にして、安全性を高めることをお勧めします。

● クイック設定 Web が開かない場合は、WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。(☞P34 「機能詳細ガイド」参照)

● WWW ブラウザでキャッシュを使用しないように設定してください。

ご利用の WWW ブラウザやその設定によっては、説明されている操作をおこなった際に、WWW ブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。

< Internet Explorer 11.0 の場合の設定例 >

① 「ツール」 - 「インターネットオプション」 - 「全般」 - 「閲覧の履歴」 - 「設定」を開く

② 「インターネット一時ファイル」タブの「保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認」で「Web サイトを表示するたびに確認する」を選択する

クイック設定 Web の起動のしかた

- 1 パソコンなどを起動する
- 2 WWW ブラウザを起動し、アドレス欄に下記を入力して、設定画面を開く
<http://192.168.0.1/>
- 3 「接続端末 情報画面」が表示されたら、【ログイン画面へ】をクリックする
- 4 「初期パスワード入力」画面が表示された場合は、本商品側面に記載された数字 6 術のクイック設定 Web パスワード (Web PW) を入力し、【次へ】をクリックする
※ この画面は初期パスワードが変更されていない場合に表示されます。
- 5 新しく設定するパスワードを入力し、【パスワード変更】をクリックする
 - パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができず、本商品を初期化（☞P33）してすべての設定がやり直しになります。
- 6 【ログイン画面へ】をクリックする
- 7 新しく設定したパスワードを入力して【ログイン】をクリックする
- 8 クイック設定 Web が表示される



パスワードメモ欄
(パスワードはこちらに控えておいてください。)



電話機から設定する

クイック設定 Web を使用せずに本商品背面の電話機ポートに接続した電話機からも、下記の設定をおこなうことができます。

※ auひかり電話サービスを契約されている場合に、電話機ポートに接続した電話機から設定いただけます。



設定の前に、必ずご確認ください。

- 本商品前面の電話ランプが緑点灯または赤点灯していることを確認してください。
→電話ランプが消灯している場合は、設定できません。
「トラブルシューティング」(☞P35) を参照してください。
- 電話機の回線種別を「DP」(パルス) でお使いの場合は、「PB」(トーン) に切り替えてください。
→設定が終了したら、元に戻してください。
→切り替え方法については、お使いの電話機に添付の取扱説明書などを参照してください。



設定項目と設定方法

電話機からおこなうことのできる本商品の設定項目と、それぞれの設定方法は次のとおりです。

設定項目の最新情報については、「機能詳細ガイド」(☞P34) を参照してください。

電話機の受話器をあげ、表の左から順番に操作します。

開始操作	開始特番	機能番号	操作終了
再起動：本商品を再起動します。			
	※※	⑧⑧⑧	「ブブ、ブブ」という音がしたあと 「ツー、ツー」という音が続いたら 設定完了です。※
初期化 (☞P33)：本商品に設定された項目、自動設定された項目すべてを工場出荷状態に戻します。			
	※※	⑦⑦⑦	「ブブ、ブブ」という音がしたあと 「ツー、ツー」という音が続いたら 設定完了です。※

※設定に失敗した場合は、「ビーピー、ビーピー」という音が繰り返し流れます。



お知らせ

- ダイヤルボタンを押す間隔が 30 秒以上あくと、設定が中止されます。
- 設定を中止したい場合は、途中で受話器を戻してください。
- auひかり電話サービスを契約されていない場合やファームウェアバージョンアップを実行中は、設定できません。
- これらの設定は、クイック設定 Web (☞P30) にておこなうこともできます。
設定方法は「機能詳細ガイド」の「クイック設定 Web の使いかた」を参照してください。

本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して工場出荷状態に戻すことをいいます。

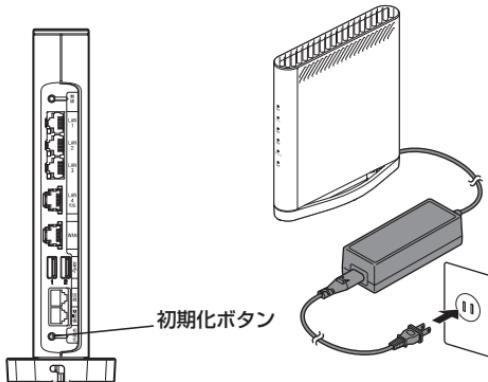
本商品がうまく動作しない場合は、本商品を初期化することをお勧めします。

いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。

初期化ボタンで初期化する

1 本商品の電源プラグを抜いて、10秒ほど待つ

2 本商品背面の初期化ボタンを押しながら、電源プラグを差し込む
約30秒後、更新ランプ、ネットランプ、電話ランプ、無線ランプ、デバイスランプ、
電源ランプが同時に3回緑点滅したら、初期化ボタンから手を放してください。
※初期化が完了するまでは本商品の電源を絶対に切らないでください。故障の原因
となります。



3 電源ランプが緑点灯したら、初期化完了



お知らせ

- クイック設定Webの「ホームゲートウェイ詳細設定」 - 「1. メンテナンス」 - 「設定値の初期化」で初期化することもできます。

機能詳細ガイドについて

パソコンなどでインターネットをご利用になる場合の本商品の様々な機能を「機能詳細ガイド」で詳しく説明しています。

「機能詳細ガイド」はホームページに掲載しています。下記 URL を参照してください。

<https://www.aterm.jp/function/bl1000hw/>

(2020 年 2 月現在)

トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらを参照してください。

該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し（☞P33）、はじめから設定し直してみてください。

- ・設置に関するトラブル（☞下記）
- ・ご利用開始後のトラブル（☞P38）

※ 無線 LAN をご利用の場合のトラブルについては、無線 LAN 端末（子機）（無線 LAN 内蔵／パソコン含む）に添付の取扱説明書などを参照してください。

設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのかをご確認のうえ、トラブルに対する原因と対策を参照してください。

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| 本商品前面の電源ランプは点灯していますか？ | → NG (a 参照) |
| ↓ OK | |
| 本商品背面の WAN ポート状態表示ランプは点灯していますか？ | → NG (b 参照) |
| ↓ OK | |
| 本商品背面の LAN ポート状態表示ランプは点灯していますか？ | → NG (c 参照) |
| ↓ OK | |
| 本商品前面のネットランプが緑点灯していますか？ | → NG (d 参照) |
| ↓ OK | |
| インターネットに接続できましたか？ | → NG (e 参照) |
| ↓ OK | |
| 本商品前面の電話ランプが緑点灯していますか？ | → NG (f 参照) |
| ↓ OK | |
| auひかり電話サービスが使えますか？ | → NG (g 参照) |

a. 本商品前面の電源ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
電源ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ● AC アダプタが壁の電源コンセントから外れていないか確認してください。 ● AC アダプタがパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。(パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。) ● 電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。 ● 電源 ON は以下の手順でおこなってください。 <ol style="list-style-type: none"> ① 本商品に電源以外のケーブルが接続されていることを確認する ※接続については「接続設定ガイド」を参照してください。 ② 本商品に AC アダプタのプラグを接続する ③ AC アダプタの電源プラグを電源コンセントに接続する ④ 電源ランプを確認する ● 電源 OFF する場合は、AC アダプタの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。 ● 本商品は精密機器です。電源の短時間の ON/OFF 操作は電源部に負担をかけます。電源を 1 回 OFF にしたあと、再び ON にするときは、約 10 秒お待ちください。

b. 本商品背面の WAN ポート状態表示ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
WAN ポート状態表示ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品と ONU など上位ネットワーク機器の両方に電源が入っていることを確認してください。(ONU など上位ネットワーク機器を介さず、直接モジュラージャックにつないでいる場合は、本商品の電源が入っていることを確認してください。) ● LAN ケーブルが本商品の WAN ポートと ONU など上位ネットワーク機器の両方（またはモジュラージャック）に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ● 添付の LAN ケーブルが使用されているか確認してください。 ● 「接続設定ガイド」をご覧のうえ、配線の確認をしてください。



ご契約のプロバイダのサービスセンターにご連絡ください。

c. 本商品背面の LAN ポート状態表示ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
LAN ポート状態表示ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。 ● LAN ボードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ● LAN ケーブルが本商品の LAN ポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ● 「接続設定ガイド」をご参照のうえ、配線の確認をしてください。また、パソコンが LAN カード / ボードを認識しているかを確認してください。 ● ネットランプが橙点灯している場合は、LAN ポートでネットワークループを検出しています。「d. 本商品前面のネットランプが緑点灯しない」を参照してください。



各パソコンメーカーもしくは販売店へお問い合わせください。

d. 本商品前面のネットランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
ネットランプが緑点灯しない	●「接続設定ガイド」をご参照のうえ、接続構成を確認してください。
ネットランプが橙点灯している	●LAN ポートでネットワークループを検出しています。LAN ポートから LAN ケーブルを抜いて、再起動してください。(☞P34「機能詳細ガイド」参照) ネットワークループを解消したうえで、LAN ポートに LAN ケーブルを接続してください。
インターネット接続に失敗する	●本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。
ネットサービスの登録がされていない	●お客様のご契約状況を確認してください。

➡ 契約のプロバイダのサービスセンターにご連絡ください。

e. インターネットに接続できない

症 状	原因と対策
インターネット上のホームページが開けない	●WWW ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバーを使用する」になっている場合、ホームページが表示されないことがあります。

f. 本商品前面の電話ランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
消灯している	●お客様のご契約状況を確認してください。
赤点灯している	●auひかり電話サービスが利用できない状態です。 ●「接続設定ガイド」をご参照のうえ、配線の確認をしてください。

➡ 契約のプロバイダのサービスセンターにご連絡ください。

g.auひかり電話サービスが使えない

症 状	原因と対策
auひかり電話サービスが使えない	●「接続設定ガイド」をご参照のうえ、配線の確認をしてください。

➡ 契約のプロバイダのサービスセンターにご連絡ください。

ご利用開始後のトラブル

● クイック設定 Web に関する問題

- WWW ブラウザで設定画面が表示されない（クイック設定 Web が起動しない）

症 状	原因と対策
WWW ブラウザ画面のアドレス欄に「http://192.168.0.1/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品の IP アドレスが工場出荷状態の場合は「http://192.168.0.1/」です。 IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。 ● お使いのパソコンにプロキシの設定をしていませんか。 →プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。 Internet Explorer の場合、以下の設定をおこなってください。 ①「ツール」-「インターネットオプション」-「接続」-「[LAN の設定]」の順にクリックする ②「[LAN にプロキシサーバーを使用する]」の「[詳細設定]」をクリックして、例外に「192.168.0.1」を入れる ● お使いのパソコンにファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、(パソコンによっては、あらかじめインストールされている場合があります) 本商品の設定ができなかったり、通信が正常におこなえない場合があります。本商品の設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。インターネットに接続できたら、もう一度必要な設定をおこなってください。停止や設定の方法はソフトによって異なりますので、ソフトまたはパソコンのメーカーにお問い合わせください。
WWW ブラウザで本商品にアクセスすると、パスワードを要求される	<ul style="list-style-type: none"> ● 「パスワード」に、お客さまが設定したパスワードを入力してください。(パスワードを忘れてしまった場合は、(P39) を参照してください。) 
クイック設定 Web が開かない	<ul style="list-style-type: none"> ● JavaScript を無効に設定している。 → WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。 (P34 「機能詳細ガイド」参照) ● LAN ポートにパソコンを接続している場合は、IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。 →パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してください。

● クイック設定 Web の操作ができない

症 状	原因と対策
パスワードを忘れてしまった	● 本商品を工場出荷状態に初期化（☞P33）してください。
【設定】をクリックしても、状態が反映されない	● 【保存】をクリックしていない。 → 各設定項目において、【設定】をクリックしただけでは変更内容は保存されません。 画面上部の【保存】をクリックし、設定を保存する必要があります。
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.0.XXX は、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	● [OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。 なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順をおこなって IP アドレスを再取得してください。 【IP アドレスの再取得】 < Windows 10/8.1/7 の場合> ① 「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「Windows PowerShell (管理者)」または「コマンドプロンプト (管理者)」をクリックする ※ Windows 7 の場合は、「スタート」(Windows のロゴボタン) - 「すべてのプログラム」 - 「アクセサリ」 - 「コマンドプロンプト」を右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。 ② 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックする ③ 「ipconfig/release」と入力して「Enter」キーを押し、IP アドレスを解放する ④ 「ipconfig/renew」と入力して「Enter」キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤ IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)

● その他の問題

症 状	原因と対策
USB ポートが利用できない	● USB ポートは過電流監視機能を搭載していますので、本商品から給電される電流が過電流となった場合、自動的に給電を遮断します。復旧させるには、過電流保護状態の USB ポートから USB デバイスを取り外したあと、本商品に接続したパソコンからクイック設定 Web で状態を復帰させます。操作方法は「機能詳細ガイド」（☞P34）を参照してください。
無線 LAN が利用できない	● ホームゲートウェイ内蔵無線 LAN 親機機能の申し込みをしていない。 → au ホームページからお申し込みいただけます。
LAN ポートで通信速度が出ないまたは接続できない	● LAN1 ~ 3 ポートの場合 1Gbps 対応していない LAN ケーブルを使用すると、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。 LAN1 ~ 3 ポートで 1Gbps の通信をご利用になるときは、1Gbps に対応した LAN ケーブルをご用意ください。 ● LAN4 ポートの場合 10Gbps 対応していない LAN ケーブルを使用すると、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。 LAN4 ポートで 10Gbps の通信をご利用になるときは、10Gbps に対応した LAN ケーブルをご用意ください。 ● 前面の電源ランプが緑点滅している場合 装置の温度状態を監視して、リンク速度を 1Gbps に制限する場合があります。「設置する」（☞P21）を参照して、お客様の設置環境を確認してください。正しく設置できたら、LAN4 ポートに接続している LAN ケーブルを 1 度抜き、しばらく時間をおいてから再度接続するか、本商品を再起動してください。

製品仕様

■ 仕様一覧

項目		諸元		備考
WAN インターフェース	物理インターフェース	8 ピンモジュラージャック (RJ-45) × 1 ポート (10GBASE-T/5GBASE-T/2.5GBASE-T/ 1000BASE-T/100BASE-TX)		
	データ転送速度	10Gbps/5Gbps/2.5Gbps/1Gbps/ 100Mbps		
LAN1～3 インターフェース	物理インターフェース	8 ピンモジュラージャック (RJ-45) × 3 ポート (1000BASE-T/100BASE-TX)		
	データ転送速度	1Gbps/100Mbps		
LAN4 インターフェース	物理インターフェース	8 ピンモジュラージャック (RJ-45) × 1 ポート (10GBASE-T/5GBASE-T/2.5GBASE-T/ 1000BASE-T/100BASE-TX)		
	データ転送速度	10Gbps/5Gbps/2.5Gbps/1Gbps/ 100Mbps		
無線 LAN インターフェース	Draft IEEE802.11ax	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯 (2.400-2.484MHz) : 1 ~ 13ch	
			[W52] 5.2GHz 帯 (5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定	
			[W53] 5.3GHz 帯 (5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定	
			[W56] 5.6GHz 帯 (5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch	
			伝送方式 OFDMA (直交周波数分割多元接続) 方式 / 搬送波数 [HE20] 242, [HE40] 484, [HE80] 996 MIMO (空間多重) 方式	
		伝送速度 ※ 1	2.4GHz 帯 最大 1147.1Mbps (HE40 の場合) ※ 2 (自動フォールバック) 5.2GHz 帯 (W52) 5.3GHz 帯 (W53) 5.6GHz 帯 (W56) 最大 2401.9Mbps (HE80 の場合) ※ 3 (自動フォールバック)	
			[W52] 5.2GHz 帯 (5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定	
			[W53] 5.3GHz 帯 (5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定	
			[W56] 5.6GHz 帯 (5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch	
			伝送方式 OFDM (直交周波数分割多重) 方式 / 搬送波数 [VHT20] 56, [VHT40] 114, [VHT80] 242 MIMO (空間多重) 方式	
		伝送速度 ※ 1	最大 1733Mbps (VHT80 の場合) ※ 4 (自動フォールバック)	

項目		諸元		備考
無線 LAN インターフェース	IEEE802.11n	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯 (2,400-2,484MHz) : 1 ~ 13ch	
			[W52] 5.2GHz 帯 (5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定	
			[W53] 5.3GHz 帯 (5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定	
			[W56] 5.6GHz 帯 (5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch	
	伝送方式		OFDM (直交周波数分割多重) 方式 / 搬送波数 [HT20] 56、[HT40] 114 MIMO (空間多重) 方式	
			伝送速度 ※ 1	2.4GHz 帯 5.2GHz 帯 (W52) 5.3GHz 帶 (W53) 5.6GHz 帯 (W56) 最大 600Mbps (HT40 の場合) ※ 5 デジタル変調方式の 256QAM 使用時は、 最大 800Mbps ※ 6 (自動フォールバック)
	IEEE802.11a	周波数帯域 / チャネル	[W52] 5.2GHz 帯 (5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定	
			[W53] 5.3GHz 帯 (5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定	
			[W56] 5.6GHz 帯 (5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch	
	伝送方式		OFDM (直交周波数分割多重) 方式 / 搬送波数 52	
			伝送速度 ※ 1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
IEEE802.11b	IEEE802.11g	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯 (2,400-2,484MHz) /1 ~ 13ch	
			伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式 / 搬送波数 52
			伝送速度 ※ 1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
	IEEE802.11b	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯 (2,400-2,484MHz) /1 ~ 13ch	
			伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式
	無線アンテナ		伝送速度 ※ 1	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)
			無線アンテナ	2.4GHz : 送信 4 × 受信 4 5GHz : 送信 4 × 受信 4 (内蔵アンテナ)

項目		諸元	備考
Z-Wave インターフェース	周波数帯域 / チャネル	920MHz 帯 (922.5/923.9/926.3MHz)	
	伝送速度	100kbps	
USB インターフェース	物理インターフェース	USB3.0 × 2 ポート (コネクタ：タイプA) USB Bus Power 対応	
電話機 インターフェース	物理インターフェース	RJ-11 × 1 ポート 600 Ωインピーダンス 受信ダイヤル：PB/DP ブランチ接続：不可 供給電圧：約 -48V (無負荷時)	
電話回線 インターフェース	物理インターフェース	RJ-11 × 1 ポート リンガ検出・ループ検出・回線極性検出	
電源		AC100V ± 10% 50/60Hz	ACアダプタ使用
消費電力 ※ 7		約 34W (最大)	
外形寸法		約 34mm(W) × 約 219mm(H) × 約 205mm(D)	スタンド・ 突起部除く
質量 (本体のみ)		約 1.0kg	ACアダプタを除く
動作環境		温度 0 ~ 40°C 湿度 10 ~ 90% Rh	結露しないこと
VCCI		VCCI クラス B	

- ※ 1： 規格による理論上の速度であり、ご利用の環境や接続機器などにより実際のデータ転送速度は異なります。
- ※ 2： ご利用環境によっては、HE40/HE20 モードが自動で切り替わるため、デュアルチャネルを「ON」に設定しても、HE20 で接続される場合があります。
- ※ 3： ご利用環境によっては、HE80/HE40/HE20 モードが自動で切り替わるため、クワッドチャネルを「ON」に設定しても、HE20 などで接続する場合があります。
- ※ 4： ご利用環境によっては、VHT80/VHT40/VHT20 モードが自動で切り替わるため、クワッドチャネルを「ON」に設定しても、VHT20 などで接続する場合があります。
- ※ 5： ご利用環境によっては、HT40/HT20 モードが自動で切り替わるため、デュアルチャネルを「ON」に設定しても、HT20 で接続される場合があります。
- ※ 6： 256QAM 対応のため、同機種対向の場合は最大 800Mbps となります。
- ※ 7： お客様のご利用状態により、消費電力は変わります。

確認シート

お問い合わせの際には、あらかじめ以下の確認シートにご記入のうえ、お問い合わせください。

●お客さま宅内環境確認シート

■ お客さま情報		
● お客さま氏名		
● ご契約番号		
■ スマートフォン／タブレット端末／その他接続機器		
● ご利用機器・OS		
(機器名 :	／ OS.Ver など :)	
(機器名 :	／ OS.Ver など :)	
(機器名 :	／ OS.Ver など :)	
■ パソコン		
● ご利用機器		
1. メーカー製 メーカー名 ()	型番 ()	2. 自作機
● ご利用 OS		
1. Windows 10 (Ver)	2. Windows 8.1 (SP)	
3. Windows 7 (SP)	4. macOS/OS X(Mac) (Ver)	
5. その他 ()		
● インターネット関連ソフトウェア（利用しているものに○をつけてください。）		
a. ウィルス対策ソフト（製品名 :)		
b. ファイアウォールソフト（製品名 :)		
c. インターネット表示高速化ソフト（製品名 :)		
● 周辺機器の有無（USB ポート）		
1. なし	2. あり（機器名など :)	
● 周辺機器の有無（LAN アダプター）		
1. なし	2. あり（機器名など :)	
■ LAN 環境		
● ハブ、ルータ、無線 LAN アクセスポイントの使用		
1. なし	2. あり 種類：(ハブ・ルータ・無線 LAN AP)	製品名 ()

■ ご自宅・周辺環境			
● 住居形態			
1. 一軒家 () 階建 2. 集合住宅（アパート・マンション・UR 賃貸住宅）() 階			
● 周辺環境（ご自宅のお近くにある該当するものすべてに○をつけてください。）			
1. 鉄道 2. 高速・高架道路 3. 大きな河川・湖 4. 高圧送電線 5. 電波塔・アンテナ 6. 放送局 7. 工場 8. 空港 9. 自衛隊・米軍基地 10. その他 ()			
● 宅内環境（本商品設置場所周辺の電源を利用している状況を確認してください。）			
a. 本商品の1m以内にノイズ源がある（冷蔵庫、電子レンジ、テレビ、ステレオなど）	はい・いいえ		
b. 本商品をパソコンの上にのせている	はい・いいえ		
c. 本商品の電源をたこ足配線でとっている	はい・いいえ		
d. 本商品の周囲に電源タップがある	はい・いいえ		
e. その他			

● 状況確認シート

■ 本商品のランプの点灯／点滅状況		
各ランプの機能についてはP17を参照してください。		
前面	更新ランプ	緑点灯・橙点灯・赤点灯・消灯
	ネットランプ	緑点灯・橙点灯・赤点灯・消灯
	電話ランプ	緑点灯・橙点灯・赤点灯・消灯
	無線ランプ	緑点灯・緑点滅・橙点灯・橙点滅・赤点灯・赤点滅・消灯
	デバイスランプ	緑点灯・緑点滅・橙点灯・橙点滅・赤点灯・消灯
	電源ランプ	緑点灯・緑点滅・橙点灯・消灯
背面	LAN1～3ポート 状態表示ランプ	緑点灯・緑点滅・緑消灯
	LAN4ポート 状態表示ランプ	緑点灯・緑点滅・緑消灯・橙点灯・橙消灯
	WANポート 状態表示ランプ	緑点灯・緑点滅・緑消灯・橙点灯・橙消灯
■ その他（ハブ、無線LANなどで複数台のパソコンを接続している方のみお答えください。）		
● ハブなどを取り除き、1台のみで接続して状況は改善しましたか？		
● その他、ご質問などございましたらご記入ください。（お困りになっていることなど）		

お問い合わせ

お問い合わせ先

接続ができない、うまく設定ができない場合は、本書の「トラブルシューティング」(☞P35)をご参照のうえ、お問い合わせください。

- パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。
- メールやホームページなどインターネットサービスのご利用に関するお問い合わせは、プロバイダのサービスセンターにご連絡ください。

- ◆ サービス内容に関するお問い合わせ
ご契約のプロバイダのサービスセンターにご連絡ください。

本商品の輸送時のお取り扱いについて

本商品はレンタル品です。故障やレンタルの解約などで、本商品を返却する場合には、KDDI・沖縄セルラー電話からの案内にしたがい、本商品一式(添付品含む)をお送りください。また、輸送時の破損を防ぐために、本商品の箱・梱包材をご使用いただくか、またはエアキャップなどの緩衝材で梱包してください。

MEMO

お願い

- ・パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。
- ・メールやホームページなどインターネットサービスのご利用に関するお問い合わせは、ご契約のプロバイダのサービスセンターにご連絡ください。

